

アンケート調査結果のポイント

【回答者特性】 ※高齢者の回答が多い（回答者について、市民の年齢構成割合に比して、高齢者の割合が高い）
 （留意事項） ※地域別の偏りは少ない（4地域別の回答者割合は、4地域別の人口構成割合と同程度）
 ※牛島（都市計画区域外）の回答者は少ない

【表記について】 ※表やグラフの割合「%」は、未記入などの「不明」「非該当」を除いた回答者数に対する割合
 ※割合（%）は、小数点以下第2位を四捨五入した数値（合計が100.0%にならないことがある）
 ※複数回答の設問では、未記入などを除いた回答者数に対する割合を表示

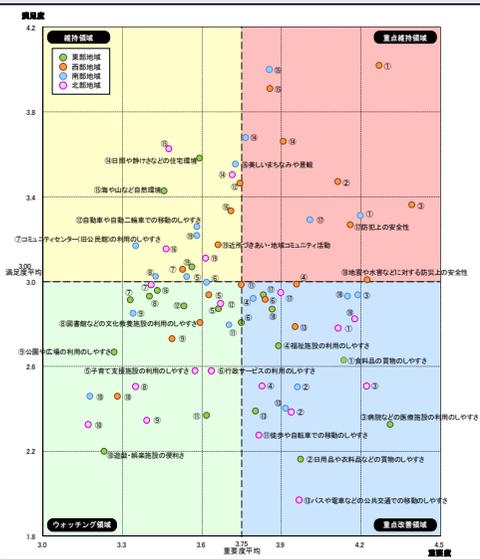
○お住まいの地区について

主に都市の現状の整理・問題点の抽出に活用

■調査項目ごとの満足度・重要度・ニーズ度

項目	全体		平均値 3.00		平均値 3.75		平均値 0.75	
	満足度 (A)	重要度 (B)	ニーズ度 (C)	ニーズ度 (D)	ニーズ度 (E)	ニーズ度 (F)	ニーズ度 (G)	
①食料品や日用品のしやすさ	3.35	4.20	0.84					
②日用品や衣料品などの買物のしやすさ	2.76	4.01	1.25					
③病院などの医療施設の利用のしやすさ	2.91	4.28	1.37					
④福祉施設の利用のしやすさ	2.84	3.87	1.04					
⑤子育て支援施設の利用のしやすさ	2.98	3.59	0.70					
⑥行政サービスの利用のしやすさ	2.87	3.71	0.85					
⑦コミュニティセンター(公民館)の利用のしやすさ	3.00	3.41	0.39					
⑧図書館などの文化・娯楽施設の利用のしやすさ	2.84	3.46	0.62					
⑨公園や広場の利用のしやすさ	2.68	3.39	0.69					
⑩公園・緑地施設の利用のしやすさ	2.40	3.22	0.82					
⑪徒歩や自転車での移動のしやすさ	2.70	3.72	1.02					
⑫自動車や自動二輪車での移動のしやすさ	3.21	3.64	0.44					
⑬バスや電車などの公共交通での移動のしやすさ	2.46	3.92	1.46					
⑭自然環境や景観	3.63	3.78	0.15					
⑮海や山などの自然環境	3.82	3.75	-0.07					
⑯美しいまちなみや景観	3.31	3.63	0.31					
⑰防災上の安全性	3.17	4.01	0.84					
⑱地震や水害などに対する防災上の安全性	2.93	4.14	1.20					
⑲近所づきあい・地域コミュニティ活動	3.16	3.61	0.45					

■4地域別の重要度と満足度の分布図



ニーズ度 上位5項目	
1	⑬バスや電車などの公共交通での移動のしやすさ
2	③病院などの医療施設の利用のしやすさ
3	②日用品や衣料品などの買物のしやすさ
4	⑯地震や水害などに対する防災上の安全性
5	④福祉施設の利用のしやすさ

ニーズ度 下位5項目	
1	⑮海や山などの自然環境
2	⑭日照や静けさなどの住環境
3	⑩美しいまちなみや景観
4	⑦コミュニティセンターの利用のしやすさ
5	⑫自動車や自動二輪車での移動のしやすさ

【都市の現状（市民意向）】

・自然環境や景観などよりも、公共交通や医療・商業・福祉施設などの生活利便施設に関するニーズ度が高い

都市構造上の課題
 ア 生活利便性の維持・向上
 イ 公共交通サービス水準の維持・向上

市民意向からも裏付け

●買い物に関して

- 【自由意見】
 ・大型ショッピングセンター誘致に関する意見が多い（10件）
 【山口県買物動向調査】【総合計画策定に向けた市民意識調査】
 ・市民に買い物先として、市内を除くと下松市が多い

本市に近く、隣接市にある商業機能（特に、大型ショッピングセンター）に関する一定の市民ニーズ

●医療施設に関して

- ・重要度が最も高い
 ・西部地域では重点維持領域、その他の地域では重点改善領域（特に東部地域と北部地域はニーズ度が高い）

- 【自由意見】
 ・医療体制や医療スタッフに関する意見
 ・診療科目の増設や病院の新設に関する意見など

【都市構造】誘導施設等の検討にあたっての参考

●公共交通に関して

- 【地域公共交通網形成計画作成時の住民アンケート調査】
 ・鉄道に関する改善ニーズ（利用者）
 運行本数、施設バリアフリー化、バスとの乗継
 ・鉄道に関する改善ニーズ（非利用者-改善時利用意向あり）
 バスとの乗継、運行本数、終業時間
 ・路線バスに関する改善ニーズ（利用者）
 運行本数、鉄道との接続、運賃
 ・路線バスに関する改善ニーズ（非利用者-改善時利用意向あり）
 運行本数、自宅近くの運行、経路改善

全般的に運行本数改善に関する市民ニーズが高い

【都市構造】コンパクト・プラス・ネットワークによる公共交通サービス水準や医療サービス水準の維持・向上の必要

○居住に関する意向について

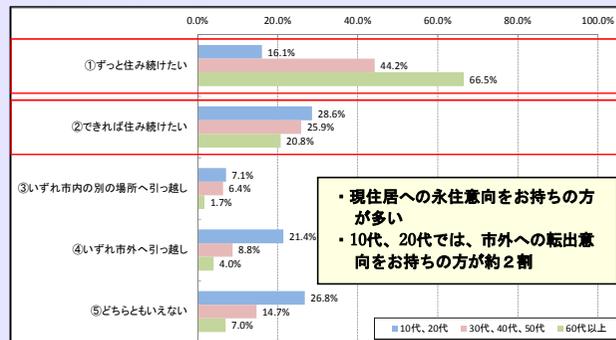
主に都市の現状の整理・問題点の抽出・誘導施策の検討に活用

■居住を決める際に重視したこと

上位3項目	
1	実家であるため (12.3%)
2	通学・通勤の利便性 (11.3%)
3	自然環境 (10.1%)

【都市構造】誘導施設等の検討にあたっての参考

■年代別の永住意向等



・現住居への永住意向をお持ちの方が多く、10代、20代では、市外への転出意向をお持ちの方が約2割

■10代20代の4地域別の永住意向等



（留意事項：標本数が少ない）
 ・東部地域において転居意向をお持ちの若年層が多い
 ・引越したい理由・要因としては、「買物が不便」が最も多く、次いで「公共交通の利便性がよくない」、「地域に愛着やなじみがない」が多い

■住み続けたい理由・要因

上位5項目	
1	地域に愛着やなじみがある (19.5%)
2	緑や自然環境が豊か (12.0%)
3	自家用車での移動がしやすい (10.9%)
4	治安がよい (10.1%)
5	買物が便利 (7.8%)

■引越したい理由・要因

上位5項目（「その他」を除く）	
1	買物が不便 (17.9%)
2	公共交通の利便性がよくない (14.7%)
3	医療サービスが不足 (9.0%)
4	徒歩や自転車で生活しづらい (8.6%)
5	地域に愛着やなじみがない (7.5%)

強み強化：愛着意識の醸成、自然環境の保全 ・ 弱み改善：都市機能の利便性向上

都市構造上の課題

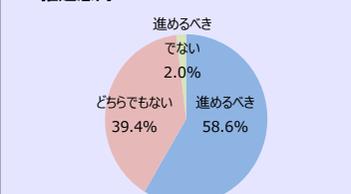
- ア 生活利便性の維持・向上
 イ 公共交通サービス水準の維持・向上

市民意向にみる

定住促進策の観点からも裏付け

○光市の今後の都市づくりについて

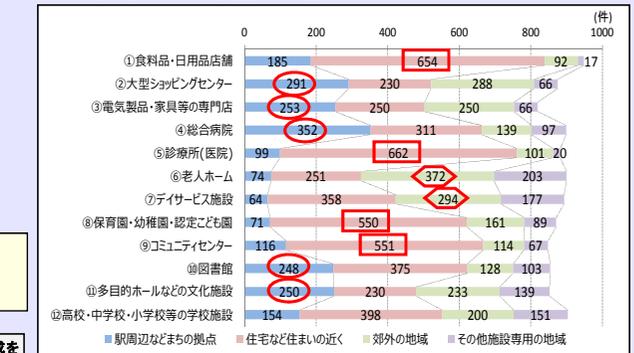
■「コンパクト・プラス・ネットワーク」推進意向



・認知度は低かったが、概要を踏まえて、「進めるべき」と考える方が約59%
 ・「進めるべきでない」は約2%

市民等への情報提供や丁寧な説明、コンセンサス形成を意図しながら、立地適正化計画を作成し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の具現化

■日常生活に関わりのある施設の配置



【都市構造】誘導施設等の検討にあたっての参考